

# 市政ニュース

昭和43年9月1日発行 第197号

毎月1.15日発行 一部2円

発行所 五所川原市役所

### 人口のうごき

総人口	51,842
男	25,059
女	26,783
世帯数	13,064

(昭和43.8.1現在住民登録による)

## 今年度分を仕上げる

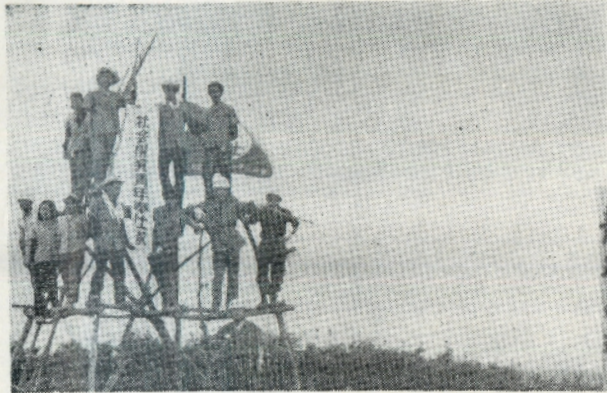
八月三日から、社会開発青年奉仕隊を中心に、市青年団、農村青年建設班からなる青年の道建設隊は、今年度の計画を上廻って、さる二十八日作業を終りました。

## 青年の道梵珠山頂へ到達

青年の道が建設されているところは、津軽縦貫産業開発道路に予定されている中山山脈の前田野目口から梵珠山に至る約三キロメートルでありますが、来年は馬神山を目指して進み、やがては、青函トンネルがつけられる竜飛までの道を開発しようという計画です。

奉仕隊の一行八名は、毎日交代で出勤する地元青年達ともよく融けあって、日増しに能率が上がって、立派な道が建設されました。作業は、背丈もある態符を刈り払いするもの、雑木

を切り倒すものと、炎日に雨の中に汗を流しての悪戦苦闘の連続で、これまでのハイキング道を整備する班と、巾三メートルの一級歩道を建設する班と分かれて働く奉仕隊の方々は、労働と奉仕の苦しさ、楽しさ、尊さを実感として受けとめることができたと話していました。



(山頂の奉仕隊と市青協の若者達)

## 来年もまた来ます

二十七日には、梵珠山頂に、雑木をつかって展望台を建設、赤い奉仕の旗をなびかせて、陸奥湾、津軽平野を見下した一行は、思わず万才を叫び、青年らしい感動にむせんでいました。この日はまた、佐々木市長も、山頂まで出むき、立派にできた青年の道を見て隊員達に感謝していました。

奉仕隊はこの外に、市街地の清掃、少年用グラウンド、遊園地の整備等に奉仕したり、ネプタ祭り参加、十和田湖見物、青年の道の終点である竜飛を見物し、一ヶ月近い五所川原での生活に思い出を残して、二十八日早朝出発しました。一行は金沢市で他県班と合流、解散式を行なう予定です。

来年も奉仕隊に加わり、五所川原へきたい、そして竜飛までこの手でつくり、完成をこの目でみたいと語っています。市では、来年もまた、奉仕隊をうけ入れて、建設を続ける予定です。今回、はじめて奉仕隊が当市に派遣さ

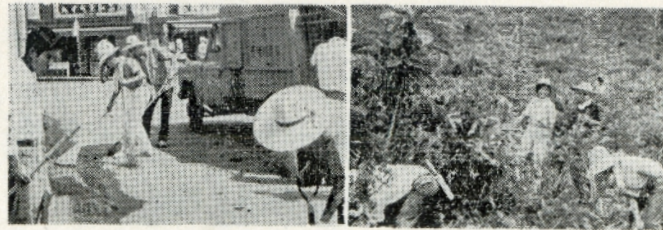
### 五所川原市立第一中学校校訓

誠  
北のいのち  
ここに燃えろ  
少年よ  
歴史を創れ

(昭和四十三年八月二十八日  
校訓碑除幕)

佐々木 栄造

実



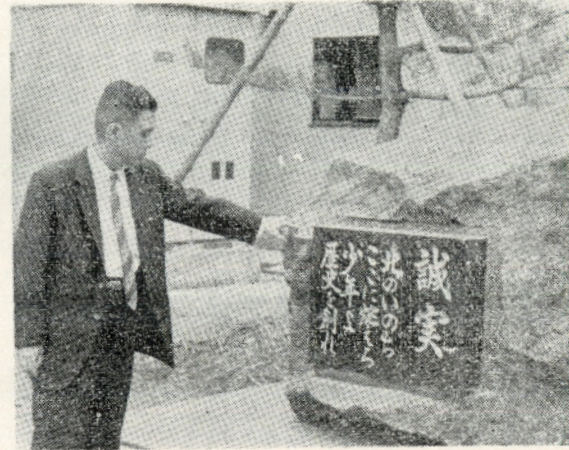
(ロータリー近くの舗装作業)

(刈払い作業)

れてきて感ずることは、彼等の純粋な心情であり、若さであり、たくましい行動力があります。殆んど無報酬(食費、旅費その他一切は日本奉仕協会が負担)で働く姿は、地元青年に多くの感銘を与えたようです。とかく現代の青年が云々されているとき、こうした青年を迎えて、地元青年との交流を図ることは、明日の五所川原建設に明るい希望をもたせるものであると思えます。地元青年達もまた期待に違わず腰弁当で働いてくれました。きつと明るい町づくりのない手となることと思えます。市民の皆さまも、一度梵珠へお出かけください。青年の道が心よく足を運ばせてくれます。

市立第一中学校

校訓碑除幕と校旗樹立



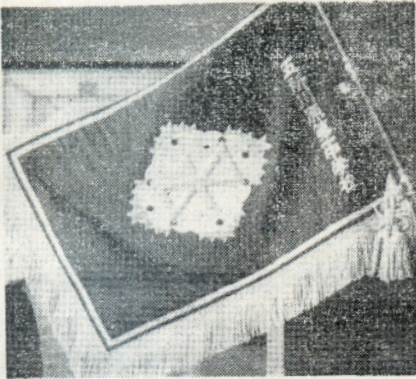
市立第一中学校(小山吉之助校長、生徒数千三百八十名)では、去る八月二十八日佐々木市長、永井教育長、菊池西北教育事務所長ら来賓多数を招き、午後二時より校訓碑除幕式、午後三時より校旗樹立式を行いました。

同校正面玄関前の校訓碑は「誠実」に佐々木市長の創作、筆による

北のいのち  
ここに燃える  
少年よ

歴史を創れる  
の碑文を刻んだもので、同校の昨年度の卒業生が寄贈したものです。除幕は現五高一年生の小野令美子さんが行ないました。

また、校旗は正旗副旗併わせて三十五万円で、校舎新築落成記念事業協賛会(会長秋元吉氏)から贈られたものが、協賛会からこの他、ブ



(正校旗)

ール二百二十万円、バックネット(野球一・ソフト一)十五万円、ステージ用幕類一式五十万円、実物幻灯機八万円、舞台照明器具一式二十五万円、校長室用応接セット一式十五万円、ステレオ一台九万円、テレビ二台二十八万円、体育用具二十万円、記念品十五万円等の沢山の寄贈がありました。

子どもと話し合いを

夏休み後の非行防止に  
夏休みは、長い間規則正しい学校生活から離れるので、とかく不規則になります。このため、休みが終っても、それまでの惰性

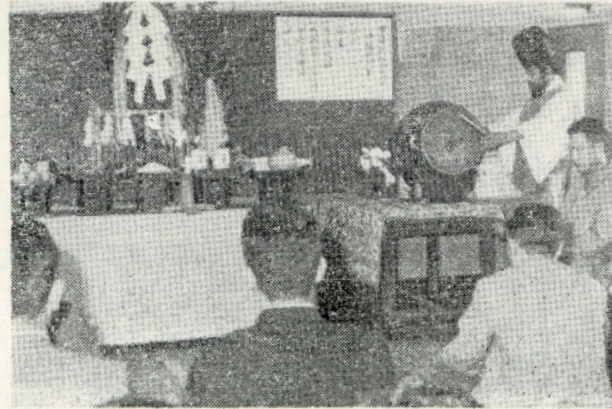
からぬけきれずに、非行化する例が多くあります。今までと違った変化に気づいたら、早くその原因をたしかめて、悪への芽をつみとるよう努めることが大切です。

一、夏休み中は、いろいろな機会から学友以外の人とつきあうことが多いので、どんな友達と交際しているかときどき話しあって適当な指導助言を与えてください。

二、何かと口実をもうけて外出する機会がふえると、きは、理由をはっきりさせるとともに、帰宅時間を守るようにしてください。

三、電話や手紙に敏感になったり、服装や身の回りを気にするようになるのは、不良グループや異性との交際があるかもしれませんが、適宜話し合ってください。

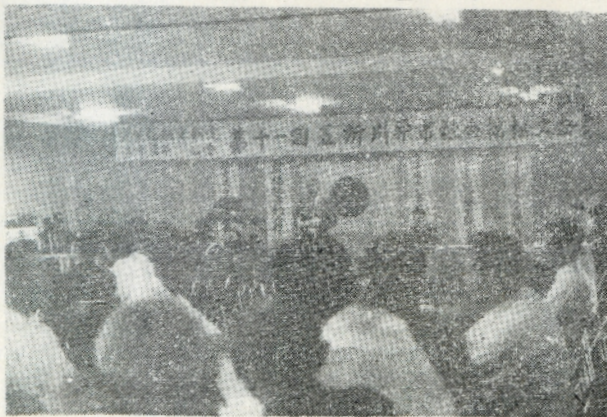
南小学校では  
四教室増築落成



(修ばつ式)

市立南小学校(藤田善四郎校長、生徒数千百三十五名)では、六月から四教室増築の工事をすすめていたが、八月十五日完工。去る八月三十日落成式を行いました。

この四教室は六百五十八万円の予算木造モルタル造り二階建てで、市内柏原町小野建設工業(代表小野仁太郎氏)が施工したものです。



(落成した四教室)

# みんなで明るい家庭を

## 市社会福祉大会おわる

児童福祉法制定二十周年記念、第十一回市社会福祉大会は、八月二十日午前九時半から、市民文化会館において、約二百名の市社会福祉協議会員が出席、来賓に佐々木市長、佐藤県民生児童委員連絡協議会長ら多数を招き盛大に行なわれました。

大会はまず社会福祉活動に功労のあった方々を表彰したあと、問題点の協議に入りましたが、出稼者の留守家族の福祉対策が焦点になりました。

### ◇協議題

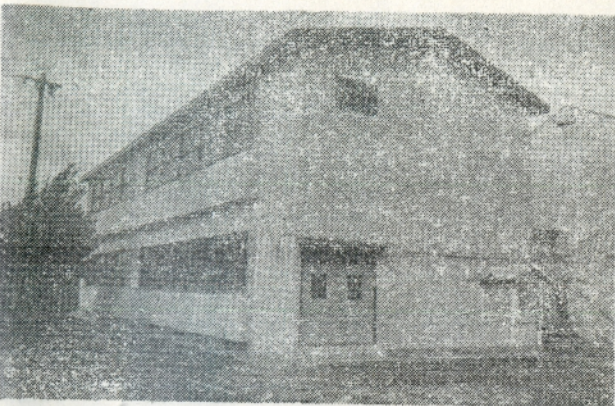
- 一、社会福祉協議会の役割りについて（発表者、市身体障害者福祉協議会長 山谷満広氏、助言者 県社会福祉協議会総務部長中野潤氏）
- 二、出稼者および留守家族の福祉対策について（発表者、市社会福祉協議会梅沢支部長前田正氏、助言者 市家庭児童相談員工藤次広氏）

### ◇表彰状

- 寺田まつ（民生児童委員 十三年勤続）
- 小田桐スズエ（母子福祉）
- 川浪喜代作（身障福祉）
- 成田昭、石岡良子（児童福祉）

### ◇感謝状

- 白生会胃腸病院、山口水道、建設省青森工事事務所、更生保護婦人会、主婦の店、荒谷理容所、第一生命、五所川原印刷、カネミ電機、



なお市社会福祉協議会では、市民の福祉向上のためにいろいろな事業を計画し実施しています。

この事業に必要な経費は会員制による会費や、篤志家の寄付によってまかなわれていますので多数の方が会員として参加することを望んで市民に呼びかけています。

また各地区毎に支部が結成されて、役員の方が説明に参上していますので、できる限りのご協力をお願いします。

各支部とも同様ですが五所川原第一支部（五小学区内、会長小山田鳳隆氏）では、今年度の事業として次のようなことを計画して地区内の福祉向上に当たっています。

ます。

ひまわり児童館へ子どもの遊具施設をつくるために二万円、つばみ乳児院に一万円、貧困家庭への災害援助資金として特に保護家庭へ最高五千元、家屋の倒壊等へ援助資金を出すなど積極的にとりくもうとしていますので同地区内の方々は主旨をご理解くださいご協力いただきたいと望んでいます。

### 児童巡回相談

青森県弘前児童相談所で、つきによって、児童のことに、心配ごとや悩みごとなどについて相談に応ずるため、巡回児童相談所を開きますから、お気軽にお出で下さい。

### ◇期日、場所

- 九月十九日 岩木町、市福祉事務所
- 九月二十六日 飯詰支所
- 九月二十七日 七和支所
- ◇時刻、九時より十四時迄
- ◇相談種別および内容

- 1、養護相談
  - 2、し体不自由相談
  - 3、視聴、言語障害相談
  - 4、精神薄弱相談
  - 5、教護相談
  - 6、触法行為相談
  - 7、長欠、不就学相談
  - 8、しつけ相談
  - 9、性向、適正相談
- 相談には児童とともにできるだけの生育等についてよく知っている方の付添いをお願いします。
- ゆだんでき**
- ない結核**

九月十五日から二十一日までは、結核予防週間ですが、結核問題はもう終わったとたいていの人はそう思っているのではないでしょう。

しかし、全国で患者は二百三十万人と推定されていますので、五十人に一人の割合ということになりま

んだん減っていますが新しい発病は、昭和三十六年から四十二年までの数字によると、十二人が毎日新しく発見されている計算になっています。しかも中、高年齢層に多く発見されています。

結核による死亡率は本県は全国で十一番目と高くなっています。健康診断をうける率は、ようやく、五十パーセントをこえる程度で、ここにも、まんえんを続けている原因があるようです。

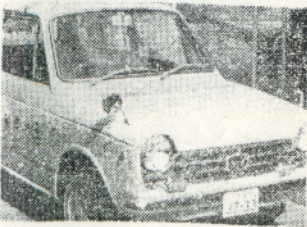
結核はまだ片づいていません。それどころか、ちょっと油断するとすぐ勢を盛り返そうとしています。年に一度は健康診断を、異常があったら早く治療を、

### 広報車が入りました

市の広報班には、これまで自動車がないので、市民へのお知らせなどのとき、非常に不便を感じていました。

この不便を解消し、取材伝達に機動力をもたせるために、広報車の購入をお願いしたところ、六月の議会で承認されましたので、早速購入、さき頃から活躍しています。

車種は、ホンダ軽四輪ライトバンで、拡声器、テープレコーダーを備えつけています。どんだん町に出て市政の動きを伝えるとともに市民の声を聞いて、市政へのパイプ役をつとめたいと思っておりますので、ご愛顧のほどお願いします。



### 赤ちゃんの健康診断

全国で一番乳児の死亡率が高いといわれているのは青森県ですが、市ではこのたび医師や保健所の協力によって「健康な子に育てる運動」の一つとして、乳児を正しい育児法を指導し、乳児死亡ゼロを図るために、該当児全員の健康診断をつぎのとおり実施しますので積極的に協力してくださいようお知らせします。

#### ◇対象児

昨年四月一日から本年三月十一日までに生まれた赤ちゃん

◇場所 旧五中校舎

◇時刻 十三時から十五時まで

◇母子手帳をご持参願います

#### ◇日程

●九月九日

旭町、東雲町、雑田町、寺町、上平井町、さつき町、下平井町、中平井町、平井町、末広町、新宮町、柏原町、幾島町、錦町、小曲、岩木町、十川町

●九月十日

大町、東町、弥生町、鎌谷町、布屋町、田園調布、新町、田町、平和町、栄町、元町、柳町、成田町、本町、川端町、千鳥町

●九月十一日

三好、長富、松島、昆沙門

●九月十二日

飯詰、栄、中川

●九月十三日

梅沢、中泉、七和、長橋

### 秋季大掃除の点検

◇九月十四日

九時 中川新宮

十三時 小曲

◇九月十六日

九時 平井町、中平井

十三時 新宮末広町、上平井町

●九月十七日

九時 末広町、十三時 鎌谷町、田町、元町

●九月十八日

九時 新町、十三時 栄町、柏原町、幾島町

●九月十九日

十三時 錦町、寺町、岩木町、川端町

●九月二十日

九時 柳町、成田町

●九月二十一日

九時 弥生町

●九月二十四日

十三時 さつき町

●九月二十五日

九時 東雲町、雑田町

●九月二十六日

十三時 十川町

●九月二十七日

十三時 千鳥町、旭町

●九月二十八日

九時 大町、本町、松島町

●九月二十九日

十三時 東町、平和町

●九月三十日

十三時 東町、平和町

●一、種別 女子二等陸士

●二、応募資格 昭和四十四年一月一日現在で十八才以上二十五才未満の日本国籍を有する女子で、中学校卒業程度の学力を有するもの。

●三、募集人員 四十七名

### 女子自衛官募集中

今月は15日です  
家族そろって  
楽しい一日を



四、試験時期 十月の予定  
五、受付期間 九月一日から九月三十日まで

六、採用時期 昭和四十四年一月

七、試験科目 中学校卒業程度の学力について行なう筆記試験(国語：作文を含む：数学社会)、身体検査、適性検査及び口述試験とする

なお、詳しいことは市役所市民課までお問い合わせください。



### 軽免許が廃止されます

道路交通法の一部が改正され、九月一日から軽自動車は普通自動車となり軽免許は廃止されます。

このため、今までの軽免許の取り扱いと、一日以後の免許試験は次のようになります。

一、公安委員会が行なう審

査に合格するまでは現在の軽自動車しか運転できませんので、若しも、普通自動車を運転したときは、無資格運転として処罰されます。なおこの審査は、九月一日以後に行なわれますが、十八才未満の者は受けられません。

二、九月一日から軽免許が廃止されるので、現在の軽自動車を運転する場合でも新しく免許証を受けようとする方は、普通免許の試験に合格しなければなりません。なお、普通免許の試験は、十八才未満の者は受けられませんことになっていきます。

### 会員が会長に感謝状

一 五所川原婦人会  
五所川原婦人会(永井かつ会長、会員五百六十四名)は、去る八月二十日五所川原小学校において、創立二十周年記念大会を開き、優良会員の表彰、菊池西北教育事務所長の記念講演、十八番のレクレーション大会など、多彩なプログラムで幕を閉じました。表彰式では、二十年動続した高満タカさん他四十六名に感謝状を贈りましたがとりわけ、会員一同から永井会長に贈られた感謝状は珍しいケースで注目されました。

### おねがい

五所川原青年会議所  
明日の希望に満ちた  
明るい豊かな五所川原市  
建設のために  
五所川原青年会議所は、市  
発展と市民生活の向上をめざ  
して、現状を究明するため市民  
の中から無作為抽出法により  
選んだ1800名の方々に市の  
あらゆる問題について尋ねた  
アンケートを送付しました  
市民の声で地域開発を  
推進しよう  
送付されたアンケートに必  
ずお応え下さい。あなたの意  
見や願いが市民の声として集  
計分析され、その結果が、市  
の今日から明日への発展すべ  
き姿として、市の政策に指針  
を与えることとなります。五  
所川原青年会議所は、この市  
民の声を実現するため市民総  
参加の運動を展開しています  
アンケートの返送は  
9月15日までです